

Bio Manufacturing Program

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

米国市場におけるバイオものづくり分野の顧客ニーズの検証や事業提携先の開拓、投資家との接点形成を通じて、グローバル市場での事業成長と商業化に向けたマイルストーン達成を目指す。

1	米国市場参入に向けた課題の整理及び成長マイルストーンの設定
2	米国市場における顧客・パートナー・投資家との接点形成及び事業仮説の検証
3	事業開発、事業提携、資金調達及び商業化の加速

派遣先

米国・ニューヨーク市

主な対象

対象企業	海外展開を目指す日系スタートアップ
ステージ	シード～シリーズA程度
マイルストーン分類	Explorer / Validator / Scaler
分野	バイオものづくり・産業バイオ関連分野 *創薬・医薬分野は対象外
その他	米国での事業展開や資金調達を検討していること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像

※プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります
※全日程、使用言語は英語となります



1 国内プログラム



東京ブートキャンプ & オンラインプログラム

- 東京にて2-3日間のブートキャンプを実施し、顧客開拓や海外展開、資金調達に必要な知識や実践的なノウハウを習得
- オンラインレクチャーや個別メンタリングを通して、事業・技術面の課題を整理し、成長に向けたマイルストーンを設定

2 渡航プログラム



米国・ニューヨーク市

- 米国現地で顧客候補・事業会社・投資家等との面談を行い、事業仮説の検証や成長マイルストーンの達成に向けた知見を獲得
- 関係者や投資家とのリレーション構築、協業等を目的とした現地デモデーを開催

3 フォローアップ



オンラインフォローアップ

- 渡航プログラムで構築した顧客・パートナー・投資家との関係を維持・発展させ、継続的な商談や協議を実施
- 定期的なメンタリングやグループセッションを通じて、資金調達や商業化に向けたアクションプランを具体化

1 国内プログラム

米国でのプログラムに先立ち、東京ブートキャンプ及びオンラインプログラムを実施。

オンラインプログラムには1対1の個別メンタリングも含まれ、各社の課題整理を行いながら、成長マイルストーンの設定を行う。

定員 最大6社まで

日程 東京ブートキャンプ：2026年11月16日(月)～11月18日(水)（対面）（予定）
オンラインプログラム：2026年11月23日(月)～12月18日(金)（予定）

概要

● 東京ブートキャンプ

- ・ ビジョンおよび目標の設定、個別マイルストーン・ロードマップの策定
- ・ バリュープロポジション、サイエンス・コミュニケーション、ナラティブの洗練
- ・ スケールアップ、オペレーション、Go-To-Market戦略の検証

● オンラインプログラム

- ・ 課題の明確化とビジネス戦略の磨き込みに向けた1on1メンタリング
- ・ ビジネスモデルおよびグローバル市場仮説の洗練
- ・ グローバルでの顧客開拓、事業開発、資金調達、パートナーシップ協議に向けた準備
- ・ ストーリー、プレゼンテーション資料、ピッチデリバリーの洗練

2 渡航プログラム

米国のバイオものづくり及び産業バイオエコシステムとの接点形成を通じて、事業機会の創出や商業化に向けた検証を行い、マイルストーン達成に向けた具体的な進展を目指す。

定員 最大6社まで

日程 2027年1月25日(月)～1月29日(金)（予定）

概要

渡航先：米国・ニューヨーク市

- ピッチコーチングによる事業戦略・ピッチの磨き上げ
- 顧客候補や事業パートナー等、業界関係者との個別面談を通じた事業機会の探索
- バイオものづくり、産業バイオ分野やケミカル分野の専門家や業界関係者とのネットワーク構築
- Demo Dayでのピッチ及び投資家ネットワーキング

3 フォローアップ

渡航プログラムで得たネットワークや知見を活用し、継続的なオンラインメンタリングを通じた成長マイルストーンの達成を目指す。

定員 最大6社まで

日程 2027年1月4日(月)～3月12日(金)（予定）

概要

1月4日(月)～現地渡航前

- ニューヨーク滞在に向けて目的を明確化し、個別のビジネス面談に必要な資料を準備
- ニューヨーク滞在中のDemo Dayに向けたピッチ資料の作成

現地渡航後～3月12日(金)

- 事前に定めたマイルストーンに対して、定期的な個別メンタリングによる事業進捗の確認
- 資金調達や事業提携に向けたアクションプランの具体化
- 顧客・提携先・投資家との継続的な関係構築に関する助言



SOSV

URL : <https://sosv.com/>

SOSVは、アーリーステージの投資と事業成長支援のためのインフラを組み合わせ、ディープテック・スタートアップのグローバルな成長を支援するベンチャーキャピタルです。運用資産総額は16億米ドルにのぼり、東京、ニューヨーク、サンフランシスコ、シンガポール、ロンドン、深圳、インド、アイルランドなどに拠点を有しています。80名を超えるメンバー、数百名のメンター、そして数千に及ぶ共同投資家やパートナーとのネットワークを擁し、56か国で1,000社を超えるポートフォリオ企業を支援しています。

SOSVは、ベンチャー投資に加え、ハンズオンでの事業開発支援、研究・開発インフラ、専門家ネットワーク、グローバルなエコシステムへのアクセスを提供する独自の支援モデルを特徴としています。バイオテクノロジーおよびディープテック分野を支援する「SOSV NY」、ハードテック分野に特化した「HAX」をはじめとする主要プログラムを通じて、科学・技術を基盤とする起業家が、技術開発の初期段階から事業化、資金調達、製造体制構築、パートナーシップ形成、グローバル展開に至るまで成長できるよう支援しています。

★主なメンター一覧



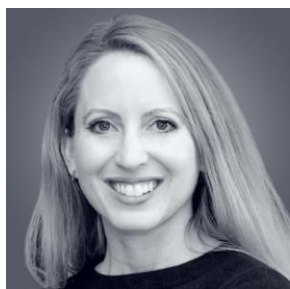
Stephen Chambers
General Partner and Managing Director

分子生物学の博士号を有し、製薬・バイオ分野における起業および事業開発で豊富な経験を持つ。2020年にSOSVへ参画する以前には、Vertex Pharmaceuticalsの創業メンバーとして事業立ち上げに携わったほか、Abpro Therapeuticsを共同創業。また、英国の合成生物学イノベーション推進機関であるSynbiCITEのCEOとして、英国の合成生物学エコシステムの発展に貢献した。さらに、Bio-startの共同創業者でもあり、30報以上の学術論文の共著者として研究成果を発表するとともに、複数の特許を保有する。



Sabriya Stukes
Partner & Chief Scientific Officer

生物医学研究（Biomedical Sciences）の博士号を有し、これまでマイクロバイオーム由来の治療薬を開発するStellate Therapeuticsにおいて、オペレーションディレクターを務めた。また、ニューヨーク市立大学シティカレッジのトランスレーショナルメディシン修士課程の創設アソシエイトディレクターとして、プログラムの立ち上げに携わった。教育者および微生物学者として、多様性を尊重したSTEM教育環境の構築と持続可能なヘルスケアソリューションの推進に取り組んでいる。



Deborah Zajac
General Partner

ディープテック、ヘルスケア、産業分野において20年以上にわたるベンチャーキャピタルおよびスタートアップ支援の経験を有する。これまで、Touchdown Venturesにおいて25のCVCファンドを通じて総額15億ドル規模の運用体制の拡大を牽引するとともに、ヘルスケア部門の共同創設者を務めた。GE VenturesおよびGE Global Researchでは、ディープテック・スタートアップへの投資、スピンアウト支援、事業提携を推進。また、スタートアップやFortune 10企業での事業運営経験に加え、製造業企業向けのアドバイザーとしても活動してきた。ニューヨーク大学スターン経営大学院（NYU Stern）でMBAを取得し、コロンビア大学ではExecutive-in-Residenceを務めた。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 支援機関の紹介

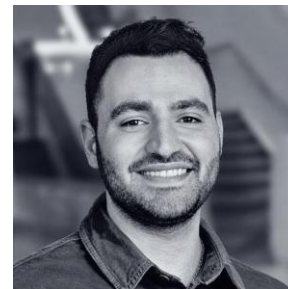


★主なメンター一覧



Alexander Hall-Daniels
Principal

2018年にロンドンを拠点とするライフサイエンス分野のアクセラレータープログラム「RebelBio」を通じてSOSVに参画。2016年にフィラデルフィアの経営コンサルティング系スタートアップで起業家としてのキャリアを開始した後、ロンドンのEdelmanで製薬分野を担当し、GlaxoSmithKlineやPfizerといった大手企業の支援に従事した。Imperial College Londonにて生化学・生物物理学・分子生物学の学士号を取得するとともに、経営学のジョイント・オーナーズ課程を修了。



Parsa Amiri
Investment Analyst

投資案件のソーシング、デューデリジェンス、ならびに採択企業の資金調達戦略の策定支援を担当している。SOSV参画前は、NYU SternのアクセラレータープログラムであるEndless Frontier Labsにてライフサイエンス部門を統括し、アーリーステージのバイオテックスタートアップを支援。また、ニューヨーク大学の技術移転オフィスにおいて、研究成果の事業化に関する経験を積んだ。ニューヨーク大学でバイオテクノロジーおよびアントレプレナーシップの修士号を、テヘラン大学でバイオテクノロジーの学士号を取得。



Selin Altinok
Investment Associate

投資案件のデューデリジェンスを担当するとともに、投資先企業の成長支援にも携わる。ノースカロライナ大学チャペルヒル校にて、神経変性疾患を研究テーマとする薬理学の博士号を取得。実社会の課題解決に強い関心を持ち、これまでNucleate-RTPにおいてボランティアとして活動し、大学発スタートアップの創業者によるバイオテック企業の立ち上げを支援してきた。



Bethany Watson
Program Manager

プログラムの企画・運営を担当するとともに、ライフサイエンス分野のアーリーステージ起業家を支援するためのグローバルネットワーク構築に取り組む。SOSV参画前は、Success Academy Charter Schoolsにおいて2年間にわたり理科教育カリキュラムの開発およびSTEM教育の推進に従事。フィラデルフィア出身で、プロのダンサーとして活動した経験を持ち、その後Columbia Universityにて生物科学の学士号を取得。

プログラムを通じたSOSV HAX Tokyoチームによるサポート



Charlie Ichimura
General Manager

事業開発/ディープテック事業化/企業連携/スタートアップメンタリング/
日米間のクロスボーダー連携



Yasunori Okajima
Director

IoT/アントレプレナーシップ/スタートアップアクセラレーション/
日本のイノベーション・エコシステム

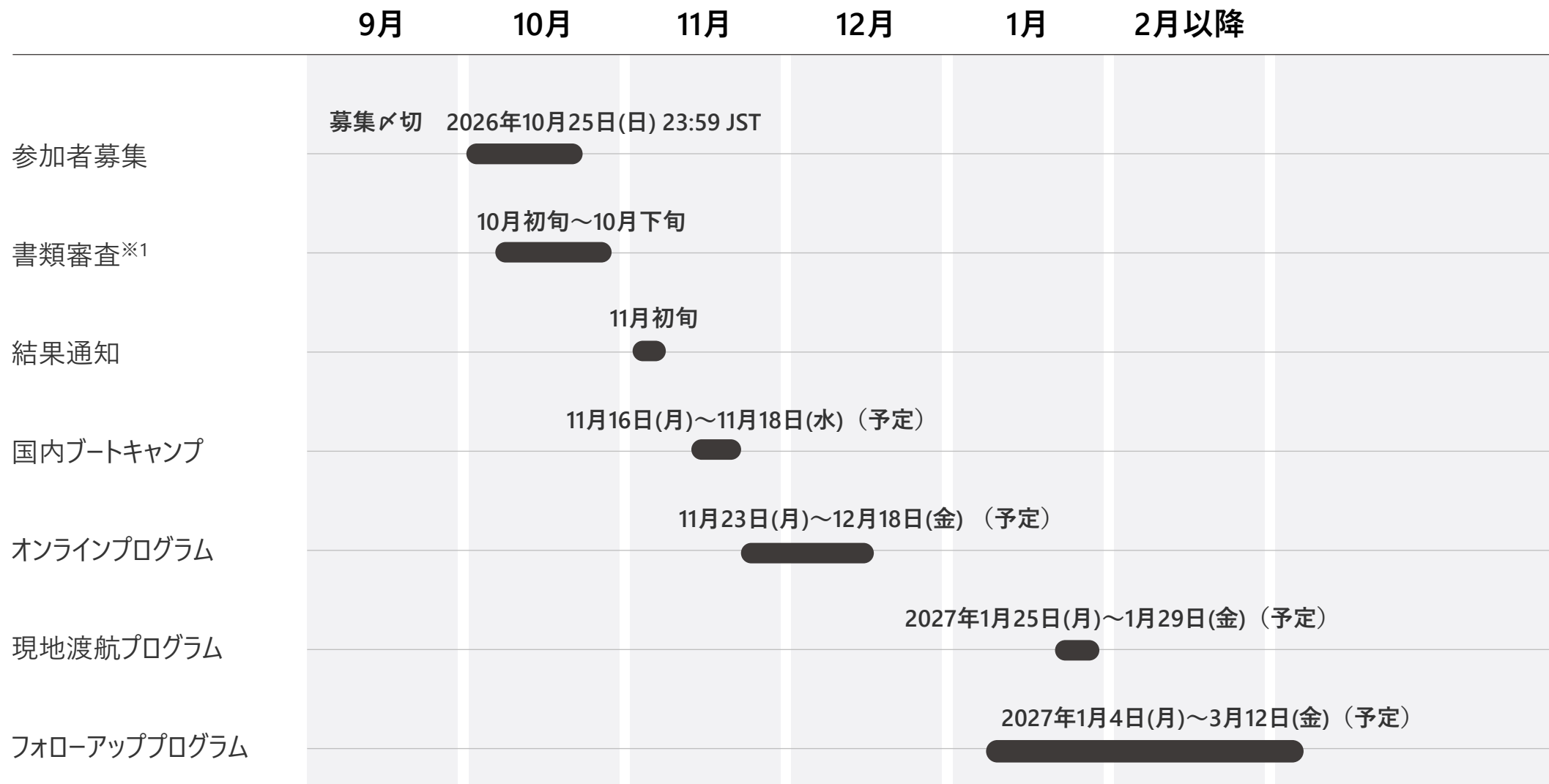


Genta Kondo
Director

エンジニアリング/プロダクト開発/ディープテック・スタートアップ/
創業者向けメンタリング/日米間のバイリンガルコミュニケーション

- **グローバルネットワーク**：2019年より東京を拠点に、SOSV、世界各国のポートフォリオ企業、日本の投資家・事業会社との連携を推進。
- **豊富なメンタリング実績**：大学や公的機関向けに10年以上の支援実績を有し、法人設立前を含む200名超の研究者を対象にメンタリングを実施。
- **幅広い専門性**：バイオ、アグリ、ロボティクス、マテリアル、宇宙分野など、多様なディープテック領域に精通。
- **ハンズオン支援体制**：スタートアップの創業・経営経験を持つメンター陣によるハンズオン支援を提供。

03 SCHEDULE | スケジュール



※1 必要に応じて面談を実施します。面談日程等は後日連絡します

定員

- 最大6社まで

主な対象

対象企業	海外展開を目指す日系スタートアップ
ステージ	シード～シリーズA程度
マイルストーン分類	Explorer / Validator / Scaler
分野	微生物・発酵技術/バイオ由来化学品・素材/代替タンパク質・細胞培養食品/バイオ燃料/農業向けバイオ資材/バイオプロセスプラットフォーム技術/計算生物学を活用したバイオ設計/診断・分析技術 等のバイオものづくり・産業バイオ関連分野（産業・農業バイオテクノロジー分野におけるバイオテクノロジー、バイオケミカル及びAI活用技術を含む）※創薬・医薬分野は対象外
留意事項	米国での事業展開や資金調達を検討していること

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方
日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない
 - 英語の提案資料/商談可能な英語力を有すること
 - 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
※ 起業前（起業準備中）の方も応募可能となります
 - プログラム参加者は米国への入国が可能であること
（ESTA対象国・地域の有効なパスポートを保有している者、又は渡航プログラム中に有効なVISAをプログラム申込時点で既に保有している者に限る）
 - 過去のプログラム期間中・終了後のヒアリング・アンケート等に回答いただいていること。また、今後必ず協力いただけること。
 - 本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方
- ※ 本プログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや実施過程でのヒアリングを実施します

05 COST-BEARING | 費用負担



参加者による費用負担

- 国内移動費
- 渡航費（航空券）及び宿泊費
- 海外での移動交通費、飲食費、通信費、VISA代、海外旅行保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

JETROによる費用負担（現物支給）

- オンライン/現地滞在中のメンタリング・ワークショップ・イベント開催等にかかる参加費用

※ プログラムは全てJETROにて直接手配し、無料で提供いたします。



※1 必要に応じて、面談審査（オンライン）を実施する可能性があります。

選考基準

- JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※次ページに詳細
- メンターならびにJETROがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 技術主導であり、製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 顧客および/またはパートナーとの初期ディスカッションを開始していること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- パートナーと連携・協力するための方法、条件が明確であること

選考基準：適切なコース選定

■プログラム選定の考え方

各プログラムでは、参加企業が最大限の成果を得られるよう、事業ステージと目的に応じた適切なコース選定を選考基準の一つとしています。

海外展開に向けた課題やニーズは企業ごとに異なるため、自社が「今、何を達成したいのか」から逆算したコース選択を推奨します。

主な参加目的例

- ・ 海外市場におけるPMF検証
- ・ Go-to-Market戦略の精緻化
- ・ 初期トラクションの獲得
- ・ 海外ネットワークの構築

目的が明確でないまま複数のプログラムに参加することは、時間やリソースの分散につながる可能性があります。スタートアップにとって最も重要なリソースである「時間」を有効に活用するため、コース選定の趣旨をご理解のうえご応募ください。

■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、事業ステージや目指す方向性に応じた最適なコース選定の相談を受け付けています。

- ・ 今年度、他のアクセラレーションプログラムに採択されている方
 - ・ 適切なコース選択に迷っている方
- いずれの場合も、応募前にお気軽にご相談ください

マイルストーンタイプ	参加目的	参加条件想定
Explorer(探索)	アイデア段階での方向性検証・市場理解	MVP未満、海外展開意欲あり
Validator(検証)	PoC/MVP段階での市場検証・ユーザーヒアリング	プロダクトあり、仮説検証段階
Scaler(成長)	顧客・投資家獲得、海外展開実行	プロダクト一定成熟、海外進出予定
Connector(特化)	投資家・パートナー連携重視	目的特化(資金調達、提携など)

応募フォーム

2026年10月25日(日) 23:59 (JST) 締切

■ご応募に注意関する注意事項

- ・ 応募に関するご質問の受付期限：2026年10月23日(金) 12:00 (JST)
- ・ 締切後のご応募は、理由の如何を問わず受け付けいたしません
- ・ 締切直前はアクセス集中により応募できない場合がありますので、余裕をもってご応募ください
- ・ 提出後のピッチ内容の修正・差し替えは一切できません

■応募フローについて

- ・ フォーム内にて、ピッチデッキ・ピッチビデオの提出が必要です（形式・方法等は次ページ以降参照）
- ・ 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
- ・ 書類審査とあわせて、必要に応じて面談審査（オンライン）も実施いたします
- ・ 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
- ・ 誓約書とパスポートの写真が掲載されたページのコピーが必要となるため、お手元にご用意ください。
詳細は採択者に別途ご案内いたします

ピッチデック・ピッチビデオの提出方法・プロセス

Step 1 資料準備

- ・ピッチデック
- ・ピッチビデオ の準備

ピッチデック・ピッチビデオを事前に作成してください。作成した資料は、GoogleフォームやCanva、Youtubeなど**権限が付与された閲覧可能なURL**に変換後、**P15の応募フォーム内**にてご提出ください。

※詳細は次頁

Step 2 お申込み

プログラムへの
参加登録、必要情報の
記入

必要な情報をご記入の上、**P15の応募フォーム**からお申込みください。

■URL発行が難しい場合

- URLでの提出が難しい方は、j-starx@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください
- メールの件名は「**Bio Manufacturing_企業名_名前**」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)

英語ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ 英語ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、6～10ページでご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは3MB以下）
- 提出方法：P.15の応募フォーム上
 - ※ Google Drive, Canva等のリンクとして申込フォームに記載してください。**アクセス権の付与をお願いします。**
- ファイル名は「Bio Manufacturing_企業名.pdf」としてください（起業前の方は企業名部分にご自身の名前をご記載ください）
- **2026年10月25日(日) 23:59（JST）まで**にご提出ください

■ 英語ピッチデッキ資料に記載する内容

事業について以下の5項目を必須項目としてスライドに記載してください。
また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい社会課題・その解決策の提示
2. 技術概要および成熟度（Technology Readiness Level）
3. 想定顧客・ビジネスモデル・市場規模
4. 直近のトラクションとマイルストーン
5. チーム構成

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

英語ピッチビデオ作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください。

■ 英語ピッチビデオ作成時の留意点

- 右欄に示す内容を含む形でご作成ください
- 動画時間：3分以内
- 言語：英語
- 動画形式：自身でピッチの様子をYouTube等で録画
→ 限定公開リンクとして提出
- 提出方法：P.15の応募フォーム上
- 2026年10月25日(日) 23:59 (JST) までにご提出ください

■ 英語ピッチビデオに含む内容

- 英語ピッチデッキの内容に基づき、ご自身の事業やアイデアについて説明してください
- 英語ピッチビデオの最後に、以下2点についてはスライドを使用せず、カメラに向かってご説明ください
 - なぜあなたがこのプログラムに採択されるべきか
 - このプログラムで何を獲得したいか

1. 本プログラムに参加頂ける方は、原則1社2名までとなります。
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびJETRO職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします。
3. 本プログラムの選考通過後は、JETRO事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。（公開内容は事前に確認を行います）
4. JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※P. 14参照

免責事項

[J-StarX 利用規約・免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません

キャンセル料発生日：正確な期限は後日参加者にアナウンスします

コース名 Bio Manufacturing Program

実施機関 JETRO イノベーション部／スタートアップ課

担当者 山下、近藤

お問い合わせ [問い合わせフォームリンク](#)

